

# 町長コラム

染谷森雄

9月定例議会が終了し、町の一般会計決算及び特別会計決算が認定され、その概要につきましては、「広報ごか」10月号でも報告させていただきましたが、歳出面、中でも町債（町の借入金）の返済が年々増加しており、19年度末現在の町債残高は137億8千万円となっております。

国は、夕張市のような財政破綻を未然に防ぐため「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」を定め、その中で、4つの財政指標を設け、公表することを義務付けるとともに、一定基準を超えた場合は財政健全化計画等を策定し、早急に財政の健全化に取り組むこととなります。

4つの指標のうち一般会計が将来にわたって負担すべき実質的な負債の割合を示す「将来負担比率」（早期健全化基準350%）は、184.9%で県内上位で、一般会計が負担する町債返済額の割合を示す「実質公債費比率」（早期健全化基準25%）は、県内でも最も高い19.7%です。なぜ高いのか？これは五霞町が住民生活に密接した基盤施

設である上水道・下水道の整備、小中学校の耐震化、道路等の大規模事業に取り組み際に借り入れをした町債の返済が大きな要因となっております。

とは言え、現在ではそれら基盤整備もほぼ完了し、町民皆様が等しく良好な生活・教育環境のもとに暮らせるようになっていくわけです。

一方、財政指標の悪化を防ぐため、歳出の抑制策として上下水道や道路整備を先延ばしするなどの対応に迫られる自治体が多く見受けられており、整備レベルの高低差は自治体間格差を生む大きな問題として顕在化していくものと思われれます。

従いまして、このような財政指標だけでは捉えきれない部分もありますが、今後大変厳しい財政運営を強いられることから、投資的な政策は当面抑制するとともに、事業の効率化による更なる歳出削減や既存事業の廃止縮減を基軸とした行政改革の推進、歳入の根幹を成す税収等の自主財源の確保などにより、より一層の財政健全化に取り組まなければならないと

考えます。

これら状況下で、自主財源確保のため取り組んでおります圏央道インターチェンジ周辺地区であります。開発の導線となります圏央道は平成24年度の供用開始にむけて今年度一部、本線高架橋の下部工事に着手されております。

開発を検討、調整する区域は集团的優良な農用地区域のため、農振・農地法に代表する関係法令の許認可調整が必須であり、種々の課題解決のため、現在、県関係機関と鋭意協議を進めているところです。今後はこれらの進捗状況を踏まえ、国機関への協議進達を図ってまいりたいと思

います。本事業は、町の将来を左右する最重要施策として、一日も早い実現に向けて官民一丸となって推進していく考えでございます。なお、このことに関し、適切な時期に関係皆様方に説明する機会を設けたく存じます。今後とも町民皆様方のご理解ご協力の程をよろしくお願いいたします。

今後とも行政運営を進めるにあたり、町民の皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

## 思いやりの心で明るい社会を

### 「命」と向き合って

五霞中学校  
生徒作文

に進んでしまっているようです。

「命」：命があるからこそ、泣いたり怒ったり、笑ったり喜んだりできるのです。幸せも不幸せも感じる事ができるのです。

みんなが命の大切さを考えて生活していれば、「死ぬ」や「うざい」といった言葉は、聞かなくてすむことでしょう。いじめや差別、暴力やいやがらせもこの世界からなくなるでしょう。

私はよく、世界の中のみんなが幸せになればいいと考えます。そんなことが簡単にできるわけではないと分かっています。私たちが一人一人が、もっと周りの人たちに、世界の困っている人たちに目を向けていけば、その日が来るに違いないと心のどこかで思っています。協力することで小さな力も大きくなり、きっとその日が来ると信じています。

人権を持って生まれてきた私たちは、だれもが幸せになる権利を持っています。それは、みんな平等です。会ったことも、話したこともない人たちでも、みんな地球という星に住む家族です。助け合って生きていかなければなりません。あの少女が、ごみを拾わなくても生きていける日のために、世界中の人々の

笑顔のために。